

令和6年度入学者選抜試験問題（総合型選抜）
（地域学部地域学科国際地域文化コース）
「課題論文」出題意図

今年度は、熊倉功夫『日本料理の歴史』（吉川弘文館、2007年）に所収されている「日本料理とは——プロローグ」を課題論文の資料として用意した。本資料は、日本料理を定義することの難しさを国内外の様々な実例をあげて説明し、大方の日本人を納得させる基準を設定することは不可能としたうえで、時代区分によって線引きする方法を提案して、その基準をもとに、21世紀の日本食文化は守るべき点と新しく創造すべき点が求められているという見解を述べたものである。

問一では、本資料の冒頭に掲げられた「日本料理とは何か。」という問いに対して、筆者自身がどのように論じているかを、簡潔に要約できるかを問うた。問二では、自明なようにして実は明確ではない「日本料理」の定義を、筆者の意見を踏まえつつ、受験生自身の言葉で論じることができるかを問うた。

評価の観点には、①資料の要点を読み解く力、②内容の論理的な一貫性や説得力、③文章表現の技法等である。以上の観点から、「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」、「創造性」を総合的に判断する。